

「東日本大震災（3.11）を振り返る」

2011年3月11日、ふくサポは「懐かしの福島市を振り返る写真展」を開催していた。まだ、ふくサポがチェンバおおまちに移転したばかりで、福島市民の方々にふくサポを知っていただくを企画し、テレビでも紹介され、日によっては100名を超える来場者があった。この日は大きな揺れに来場者の安全を心配したのを覚えている。

建物の安全を考え、16時に閉館、翌日の安全確認を経て、翌々日には開館。通常通り、10時から21時半（現在は9時から21時）まで開館したが、閉館時には暗闇の街。バスもなく歩いての帰り道は星空がとてもきれいだったのを思い出す。

電話連絡が取れなくなった活動団体さんとようやく連絡が取れ、災害支援のプロジェクト「ふくふくプロジェクト」を上げたのは災害から約1か月後のことだった。避難所の人数が日ごとに変わる状況や支援者からの連絡の調整、支援品の配達、日々の毎日新聞さんへ福島の被災地状況を伝える原稿提供、ふくサポは目が回る忙しさだった。

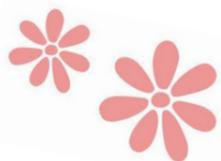
振り返れば、この時のつながりが、今の活動の信頼や協働の種となっている。

震災直後、「やらなければならない」ふくサポの役割は明確だった。未だ復興半ばの福島の道は多様で不透明である。しかし、未来は多岐におよび、ふくサポの進む道も広がり、迷いも生じる。頻繁に起こる自然災害への対応、未来の福島への歩みと地域の活動団体ネットワークの強化、ふくサポの担うべき役割をしっかりとみつめ、スタッフ一同で（ふくサポ受託組織全体で）考えていきたいと思う。

ふくしまNPOネットワークセンター事務局長 内山 愛美

20年のあゆみ

福島市市民活動サポートセンター



お祝いメッセージ



ふくサポ設立20周年、おめでとうございます。ふくサポの活動を見守る第三者機関、福島市市民活動サポートセンター運営協議会の座長を第1回(2007年11月)から務めてきました。当時はまだ市民活動支援のためのセンターが各地にでき始めた頃で、ふくサポもどういう機能を備えるか、誰もが手探りで考えたことが思い出されます。その後、講座開催や相談対応、活動しやすい施設の提供など、ふくサポもかたちが整ったと実感しています。その分、あって当然のセンターになっていないか？市民も行政も、20周年を機に改めてわがまちのセンターを考えていきましょう。

福島大学行政政策学類教授 今西 一男

この度は、福島市市民活動サポートセンター設立20周年、おめでとうございます。私共NPO法人ルワンダの教育を考える会では、今日まで貴センターの施設をイベント等に使用させていただき、また市民活動フェスティバル等のイベントにも毎年参加させていただきました。これらの活動の中で、私たち自身が多くのことを学ぶとともに、市民の皆様と繋がりを深めることが出来たことに感謝いたします。そして当会活動へのご理解とご支援に重ねて感謝申し上げます。すべての出会いに感謝いたします。貴センターの益々のご発展とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

NPO法人ルワンダの教育を考える会 理事長 永遠瑠マリルイズ



サポわん

ふくサポ広報大使
ゆるキャラ（非公式）

20年の歴史を振り返ると、福島市市民活動サポートセンターに集う団体がいつの間にか仲間となり、活動への相互参加、新規団体発足サポート、様々な講座等への参加等々、振り返るほどに思い出は尽きず、自分自身の知識や価値観に大きく影響していたと思います。常に自分たちの活動の中心にこの場所があり、皆が共創してきた20年。次世代により良い地域資源として繋いでいく為、これからも共に歩み続けましょう。20周年おめでとうございます。

NPO法人シャローム 齋藤 功



にゃんこ隊長

ふくサポゆるキャラ（非公式）

2005

福島市市民活動 サポートセンター



ラヴィバレー番丁に
オープンしました

福島市市民活動サポートセンター設立の経緯

2002年12月「福島市協働のまちづくり推進指針」が策定されました。これに基づき、市民活動の促進や協働のまちづくりの担い手の育成・支援を目的に、公益的市民活動を行っている（または行おうとする）団体や個人を支援する拠点施設として設置することとなりました。選考委員会により公開で審査が行われ、NPO法人ふくしまNPOネットワークセンターが管理運営にあたることになりました。

2010

チェンバおおまち (現在)に移転

新・福島市協働のまちづくり推進指針策定



＜移転オープンセレモニー＞

交流広場にて、毎月企画展示を行いました

ふくしま市民活動 フェスティバル事務局開始

2009

＜ふくしま市民活動フェスティバルの様子＞



東日本大震災発生

2011

4月 ふくふくプロジェクト発足
ふくふくプロジェクト事務局を担い毎日新聞(希望新聞)に日々寄稿していました



2012

まちの駅認定

2012～2013年
復興シンポジウム開催

2013

インターン制として、学生を受入れ始めました

ふくしま市民活動フェスティバル 中止

2015

ふくサポ設立10周年

この年、ふくしま市民活動フェスティバルは、「チェンバおおまち」「中合」「アオウゼ」の3か所をつないで1週間行いました

指定管理制度へ移行

2014

指定管理制度を導入し、NPO法人ふくしまNPOネットワークセンターが引き続き、管理運営にあたることになりました

ふくしま市民活動フェスティバル 再開

2025

ふくサポ設立20周年

指定管理第3期2年目を迎え、NPO法人ふくしまNPOネットワークセンターが引き続き、管理運営にあたっています

福島市共創のまちづくり 推進指針策定

2021

